



病院モニターさんを紹介します

町立病院では、病院の理念である「地域に親しまれ信頼される病院」づくりの更なる充実を目指して、住民の皆様の意見や要望等を広く聴取するために「モニター制度」を導入しています。

この趣旨に賛同し、モニターさんとして活動していただいている方々を紹介させていただきます。（順不同）

	村上姫子さん	千島トシ江さん	山崎具子さん	吉田迪子さん	新井貴子さん
小鹿野地区	渋谷京子さん	加藤みどりさん	木村良子さん	原口章子さん	吉岡 勇さん
長若地区	豊田 均さん				
三田川地区	播磨二三江さん	岩寄るみ子さん			
倉尾地区	宮田かねさん				
両神地区	多比良キヨ子さん				

いただいた意見等を基に、1年に3回モニター会議を開催し、医療サービスの向上や企画立案に活用させていただきます。

お気づきの点がございましたら、お近くのモニターさんまたは地域医療連携室へお気軽にお問い合わせください。

地域医療連携室：加藤、横田

電話：75-2332

町民ギャラリーのご紹介

町立病院では、町民の皆様から作品をお借りし、町民ギャラリーとしてロビーに展示させていただいております。

これまでに、水彩画、はり絵、パッチワーク、墨絵、写真、押し絵、和紙絵、ビーズなどを展示させていただきました。

展示により、患者さんはもちろんですが、職員もたいへん癒されております。

今後も可能な限り展示させていただきますので、ご協力いただける方は、地域連携室までお気軽にご連絡ください。

お待ちしております。



小鹿野美術クラブの皆さんの作品

外来からのお知らせ

平成30年8月27日現在

休診

耳鼻咽喉科：9月 4日（火）荒木Dr.

眼 科：9月11日（火）竹内Dr.

整形外科：9月15日（土）関口Dr.

総合診療科：9月18日（火）田中Dr.

休診

総合診療科：9月27日（木）山下Dr.

総合診療科：9月28日（金）山下Dr.

変更

整形外科：9月14日（金）関口Dr.→吉原Dr.

※総合診療科は、待ち時間の解消のため、当日受付枠を設置しています。

但し、医師の指定はできませんのでご了承ください。



職員募集のお知らせ

① 職 種：診療放射線技師（正職員）

募集人員：1名

受験資格：有資格者

提出書類：履歴書・資格免許証の写し

試験方法：小論文及び面接試験

採用予定：平成31年4月1日

※詳細はお問い合わせください。



② 職 種：看護師（正職員・臨時職員・パート）

③ 職 種：准看護師（臨時職員・パート）

④ 職 種：介護士（臨時職員）

募集人員：若干名

提出書類：履歴書・資格免許証の写し

試験方法：面接試験（正職員は小論文試験あり）

採用予定：随時

⑰ 《 思いをちょっとプレゼント・・・ 》

本当に暑い夏でした。台風も多く発生し、あちこちで大雨被害のつめあとが残され、異常気象と一言で片づけるには心苦しく感じる夏でした。最近ではやっと過ごしやすくなってきましたね。しかし30℃前後で涼しく感じるなんてやはり異常です。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、病院にはいろいろな方が入院し、いろいろな方がお見舞いに来られます。毎日来ることが日課になっている旦那さん、いつも夕方になると寄り添うように付き添われている娘さん、遠くから帰省され久しぶりに会うお孫さん。笑顔で会話される患者さんもいれば、表情を変えることができない患者さんもいます。では、全く反応のない患者さんは、全然わかっていないのでしょうか。私は決してそうは思いません。

私の叔母は10年以上前に2度目のくも膜下出血で倒れ、意識がないまま大阪にある国立病院の集中治療室に入っていました。呼びかけても目は閉じたままで全く反応はなく、何本もの点滴やコード類につながれ、心電図がモニターに映し出されていました。動脈にも直接管が入っていましたので、その瞬間の血圧も表示されていました。私は「おばさん、わかりますか？望です」と声を掛けましたが反応はありません。しかし、数秒後にあることに気づきました。血圧が少し上がり、脈拍が20ほど速くなったのです。もしかしてと思い、数分間黙って血圧と脈が落ち着いたのを確認し、再度話しかけました。すると数秒後明らかに血圧は上がり、またしても脈が早くなったのです。おばさんは聞こえている、と確信した瞬間でした。



高知にいたころにも同様の経験をしました。お世話になった方が脳出血で倒れ寝たきりの状態で別の病院に入院していました。その方は本当にわずかに右手の指をぴくっと動かすことができるだけで、それ以外は全く反応がありません。その方の手を握りながら、共通の趣味であった釣りの話をすると、わずかに私の手を握ろうとするのを感じます。10分ほど私が一方的な話をした後「帰りますね」と伝えると、明らかに私の手を握る彼の力が強くなっている。申し訳ない気持ちでゆっくりと手を外し帰路についたことでした。みんな聞こえています。動けない、話せないだけなんです。

そんな方々に私たちは何ができるのでしょうか。それは寄り添うことです。私たちがわかっていないと思っている、その方のところに寄り添い声をかけること。わかっていると信じて接すること。それだけだと思っんです。

何かを「築いた人」より
何かを「気づいた」人のほうが幸せだ
中谷彰宏（作家）

今やれることを
今やらなかったら
一生やれないということなんだ
大島渚（映画監督）

お見舞いって、自分の時間、自分の思いを相手にプレゼントすることだと思います。どうぞ皆さま、気になる人がいたら今月はそんな思いをちょっとプレゼントするってどうですか。でも、おせっかいやおしつけにならないように気を付けてくださいね。

院長 内田 望

☆ 年に一度は「人間ドック」を受けましょう ☆

お問い合わせ：総合健診センター（病院内） 直通電話：72-7510



〈発行〉 国保町立小鹿野中央病院 〒368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野300番地

電話 0494-75-2332 FAX 0494-75-3313

〈ホームページ〉 「国保町立小鹿野中央病院」で検索、または「小鹿野町」のホームページからどうぞ。